エフピコ方式による「トレーtoトレー®」のリサイクル



2026年10月21日
株式会社エフピコ
サステナビリティ推進室

会社概要

会社概要

●社名　：株式会社エフピコ（旧社名：福山パール紙工株式会社）

●設立　：1962年（昭和37年）7月　●創業者　：小松安弘

●本社　：広島県福山市　●東京本社：東京都新宿区

●代表者：代表取締役会長　佐藤 守正
　　代表取締役社長　安田 和之

●事業内容：プラスチック製簡易食品容器製造･販売

●資本金：131億5,063万円

●2026年3月期 売上：2,405億（連結）

●従業員数：1,024名（グループ総数5,306人）

●生産工場21拠点
　配送センター　９拠点、ピッキングセンター10拠点
　リサイクル工場3拠点、選別センター11拠点





全国を網羅する拠点ネットワーク

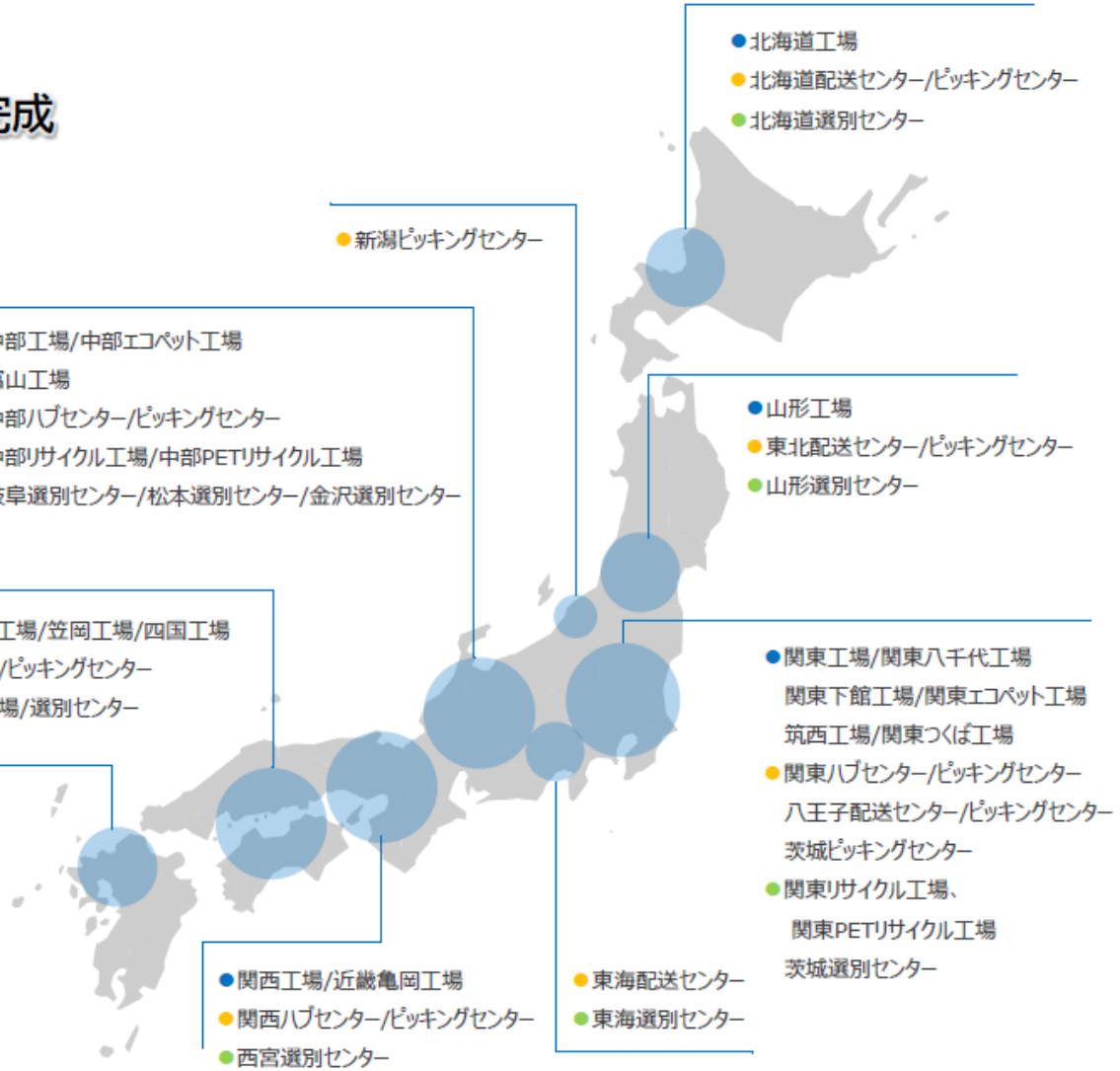
各エリアで 生産・配送が可能

半径100kmで主要都市を含む
全人口の85%をカバーするネットワークが完成

本社　福山本社・東京本社(新宿区)
支店・営業所　大阪支店他　9営業所

製造・物流・リサイクルネットワーク

生産工場	21拠点
配送・ハブセンター	9拠点
ピッキングセンター	10拠点
リサイクル工場	3拠点
PETリサイクル工場	3拠点
選別・減容センター	11拠点



非常用発電設備

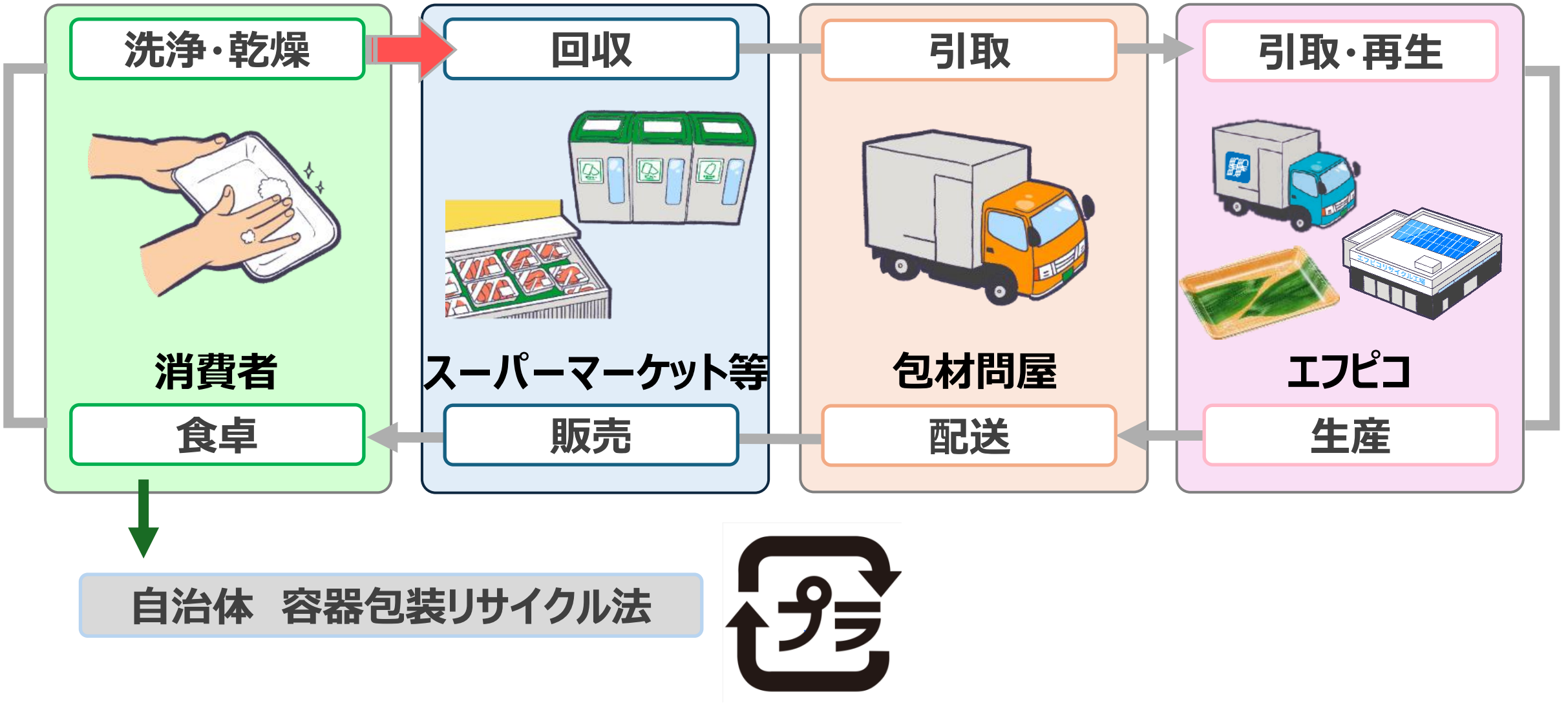


BCP(事業継続計画)“災害時の安定供給”
全国の物流施設すべてに非常用発電設備を設置
72時間 の 電力供給 を 確保

4

エフピコ方式のリサイクル
「トレーtoトレー®」

エフピコ方式のリサイクル



エフピコ方式のリサイクル 「ポイント」

前提 単一素材であること

入口：回収システムの構築

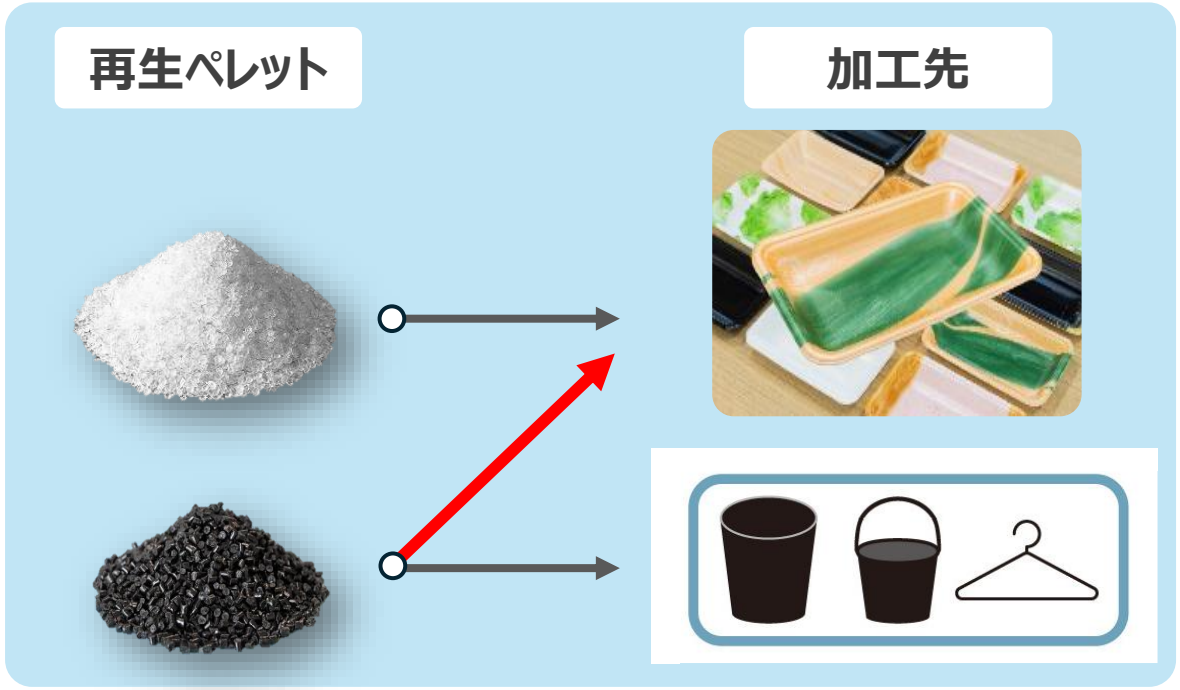
帰り便を活用　**逆流通システム**

回収 → 引取 → 引取・再生



出口：再商品化の方向

エコトレーに成形加工



エコトレーの販売拡大に向けて

回収～ペレット化　各種リサイクル手法　再生利用



1/2

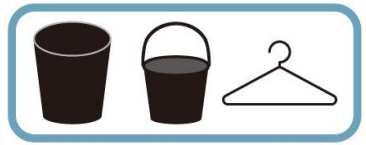




マテリアルリサイクル



約8,000トン
（2026年3月期）



1/2





溶解分離
リサイクル
(Dic法)

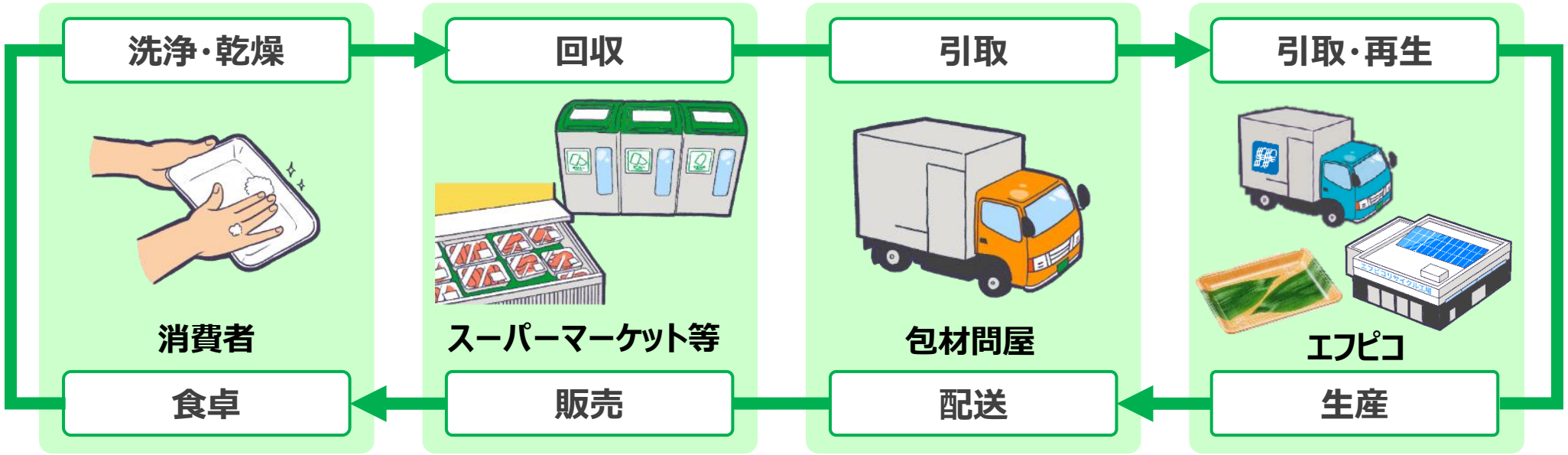








リサイクル①　発泡トレー（PSPトレー）



歴史

1990年　容器包装から紙包装へ変更

1987年　米国 マクドナルド不買運動

1990年　エフピコ方式のリサイクル開始

1992年　「エコトレー」の販売開始

1995年　容器包装リサイクル法制定

2008年　透明容器のリサイクル開始

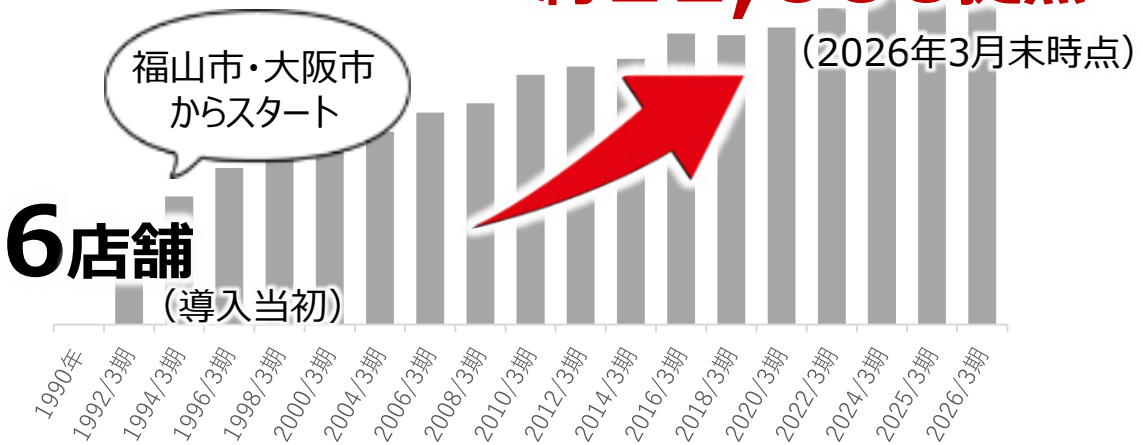
2011年　PETボトルのリサイクル開始

2012年　「エコAPET」の販売開始

2016年　「エコOPET」の販売開始



回収拠点数



発泡スチロール製トレーリサイクル

①搬入



各リサイクル工場・選別センター

②選別



白・柄・不適品に選別

③風力選別



細かな異物を除去

④洗浄・すすぎ・脱水



熱水や洗剤で洗浄

⑤溶融・押出



高温で加熱、粒状に加工

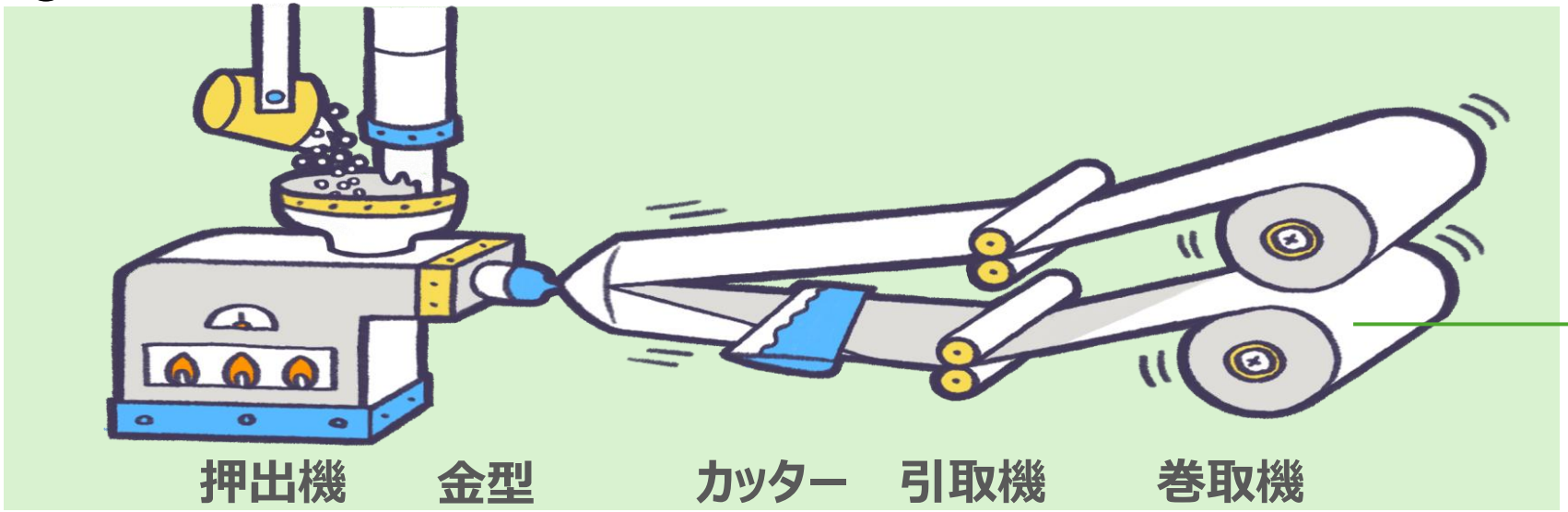
⑥完成



ペレットの出来上がり

発泡スチロール製トレーリサイクル（押出･成形）

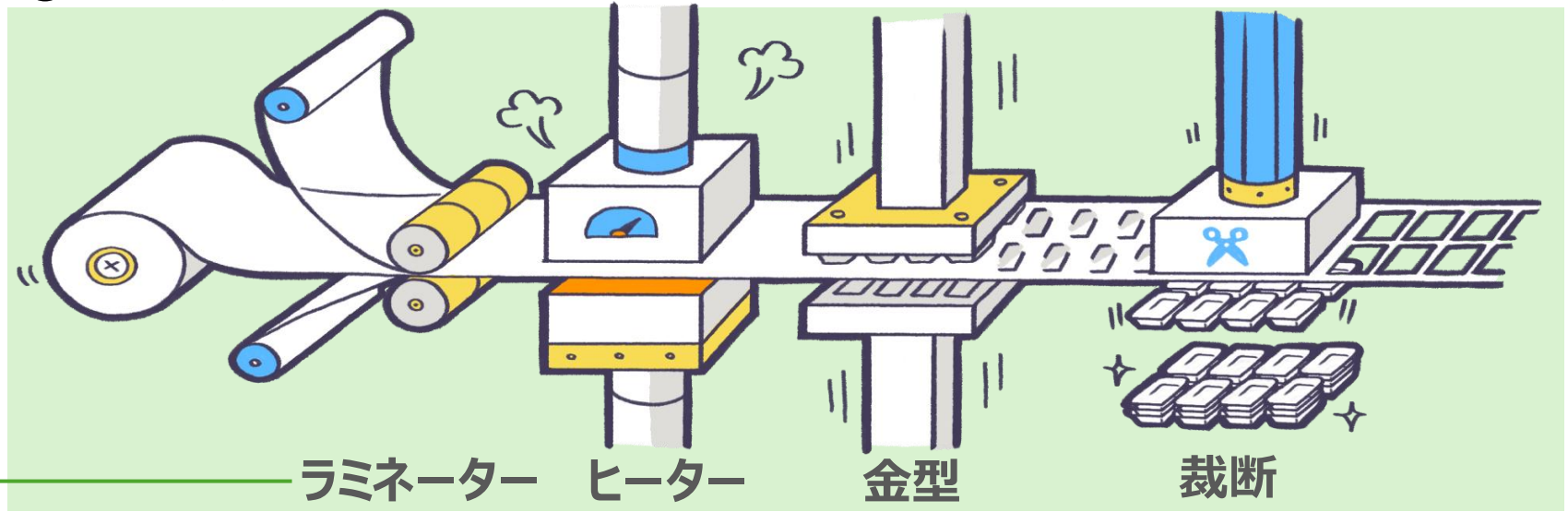
①シート押出

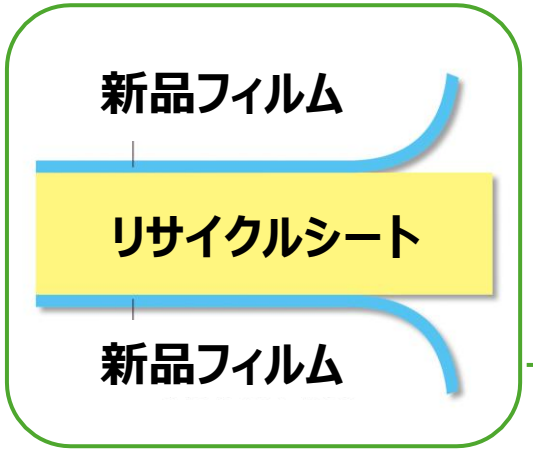




PSPロール（約300m）

②成形･裁断





新品のフィルムを熱融着

能力を最大限に活かすダイバーシティ経営

選別　使用済み食品トレー
使用済み透明容器





製造　食品トレー容器の成形、
組立加工、検品、包装



エフピコグループ　2026年3月時点

障がい者雇用人数	：405名
障がい者雇用換算数	：676.5名
障がい者雇用率	：12.5%

障がい者雇用に関する評価

■2019年1月　（厚労省）
「H30年度 障害者活躍企業」認証
（エフピコダックス㈱）

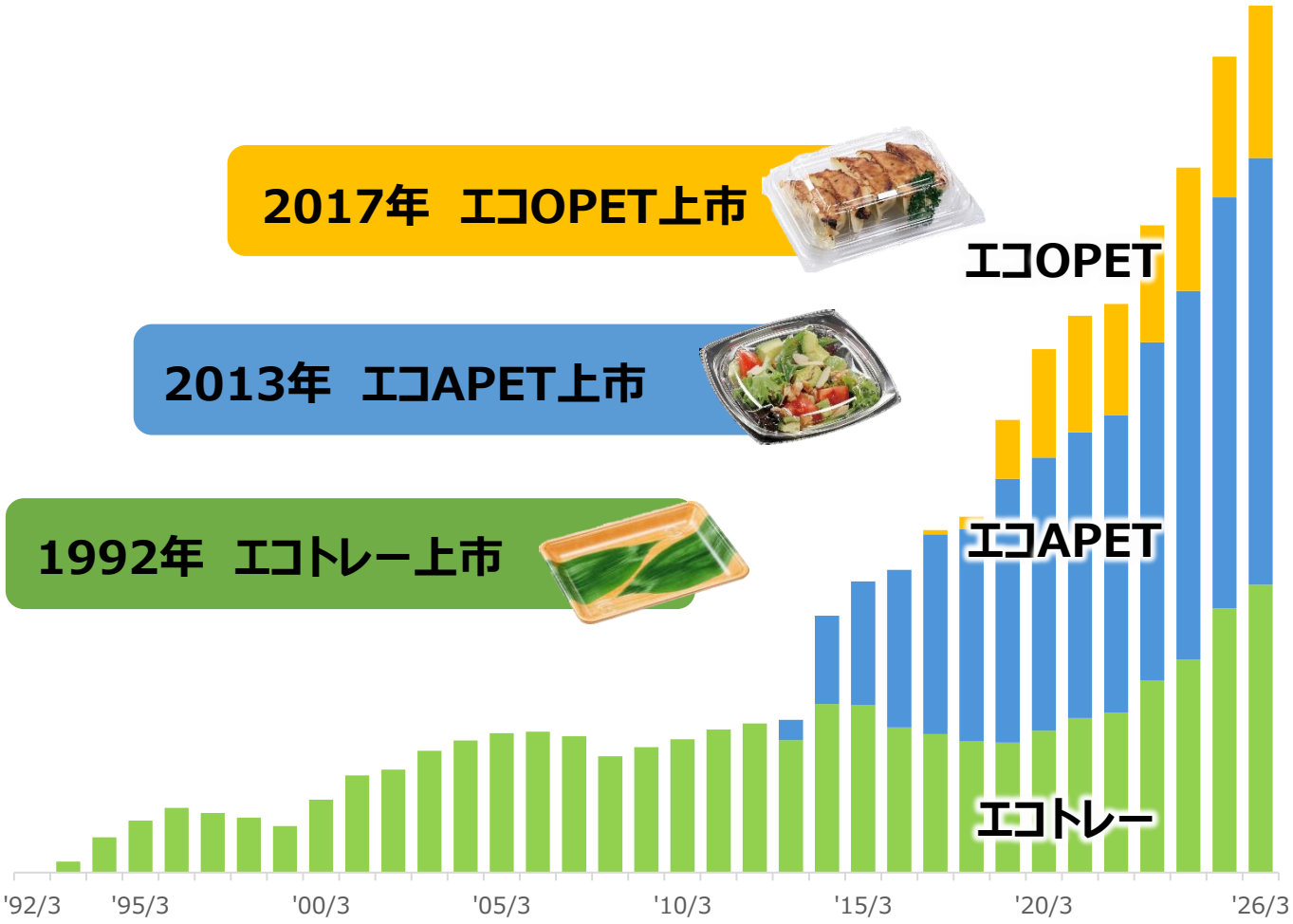
■2025年10月　（東洋経済新報社）
「障害者雇用率ランキング」 3位

■2022年6月　（厚労省）
「障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定（もにす認定）」　（エフピコダックス㈱）

エフピコ方式のリサイクル
「効果と環境戦略」

エコ製品の販売実績

エコ製品 売上推移（億円）



2026年3月期

エコ製品売上

970億円

製品全体のエコ化率
（枚数ベース）

52%

PET製品エコ化率

100%

プラスチック資源の回収

※枚数・本数は、標準的なグラム数にて換算
PSP：4ｇ、透明容器：10ｇ、PETボトル：25ｇ

		回収重量				
		’22/3実績	’23/3実績	’24/3実績	’25/3実績	’26/3実績
容器（PSP・透明容器） 	スーパーマーケット店頭 指定法人ルート	10,300t (約22億枚)	10,400t (約22億枚)	10,500t (約22億枚)	11,000t (約23億枚)	11,800t (約24億枚)
PETボトル 	指定法人ルート スーパーマーケット店頭 事業系ルート	73,000t (約29億本) ＊一部プラント修繕	81,000t (約32億本)	80,000t (約32億本)	79,000t (約32億本)	78,200t (約31億本)
回収重量合計		83,300t	91,400t	90,500t	90,000t	90,000t
製品販売重量に対する 使用済み製品の回収重量比率		40%	44%	44%	42%	42%

気候変動対応　エコ製品によるCO2排出量の削減

CO2排出量

-33%



エコトレー

-30%



エコAPET



エコOPET

エコOPET 4.6万トン

エコAPET 10.0万トン

エコトレー 6.5万トン

エコ製品の製造で削減できるCO2排出量

2026年3月期 21.1万トン

グループCO2排出量

2026年3月期 17.7万トン

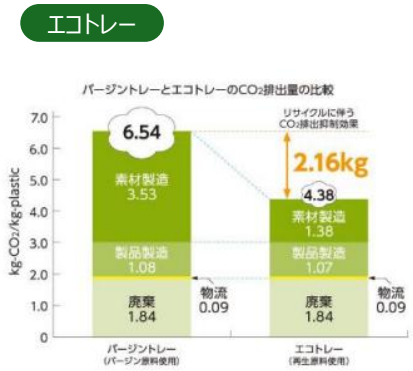
オフィス部門　0.4万トン
物流部門　0.7万トン

製造部門 16.6万トン

トレーtoトレー

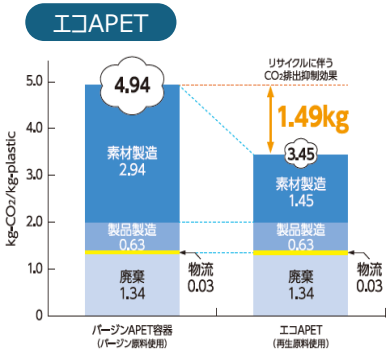
原油 → ナフサ → 分解油 → ベンゼン → エチルベンゼン → スチレンモノマー → ポリスチレン樹脂 → 発泡スチロールシート → 発泡スチロールトレー → 問屋 → スーパーマーケット → 消費者

ナフサ → エチレン



ボトルto透明容器

原油 → ナフサ → エチレン / キシレン → エチレンオキサイド / パラキシレン → エチレングリコール / 高純度テレフタル酸 → PET樹脂 → PETシート → PET容器 → スーパーマーケット店頭 / 指定法人ルート / 事業系ルート → 消費者



お店を発着点とした「ストア to ストア」

お店で使用・販売した食品トレー・ペットボトル は
そのお店で資源として回収 し、食品トレー・透明容器に再生して、
また **そのお店で積極的に使用する**

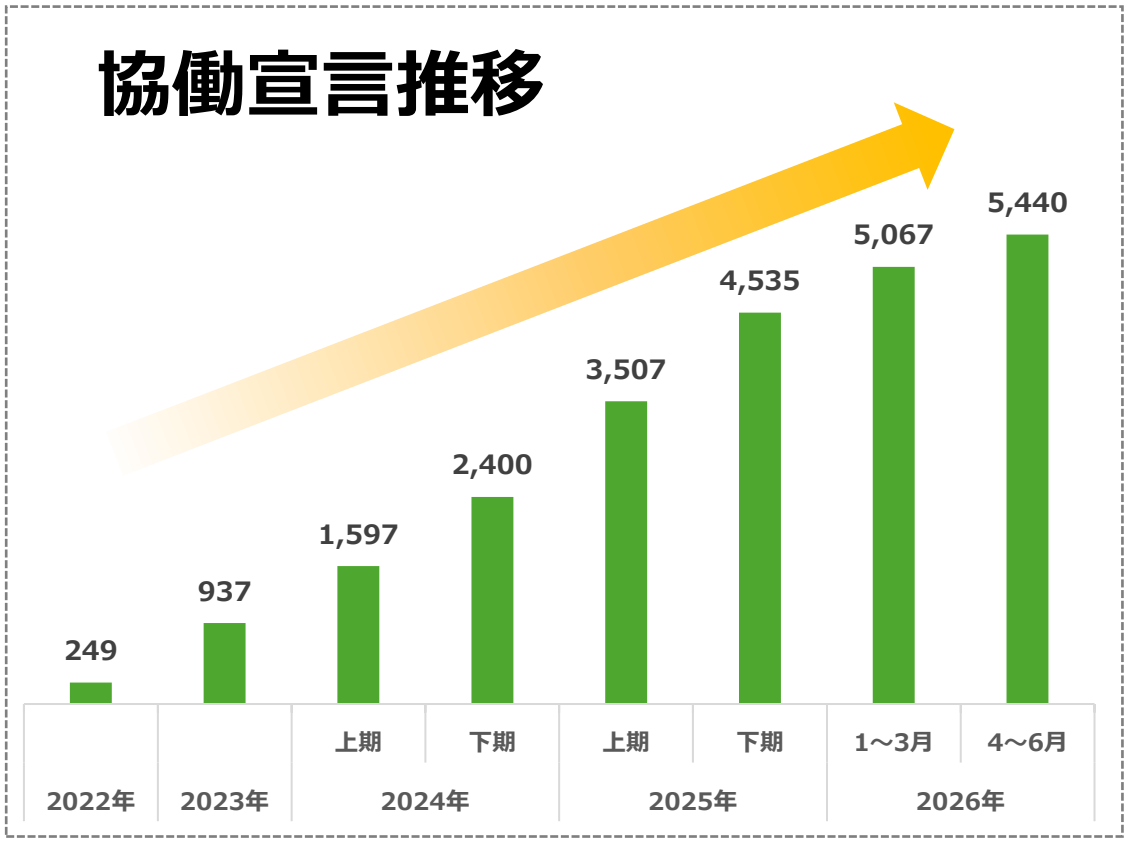


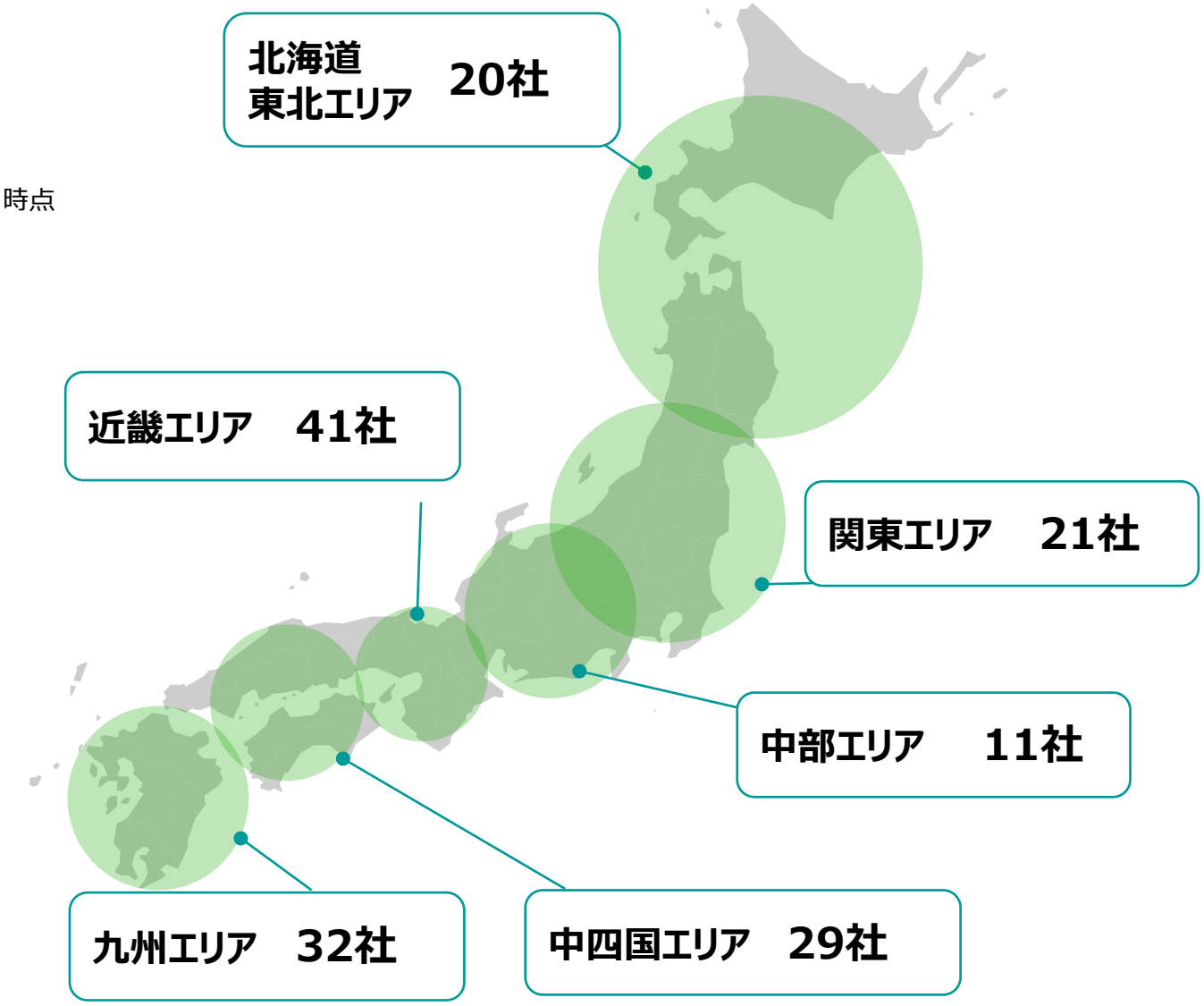
「ストア to ストア」協働宣言

154社 **5,776**店舗

※2026年9月1日時点

協働宣言推移





エフピコ環境基金の創設

エフピコ環境基金
The FP Corp. Environment Fund



1990年　「エフピコ方式のリサイクル」をスタート

2020年3月　「エフピコ環境基金」を創設
これからの社会的課題の解決をテーマに活動する先への助成

助成実績

2021年3月期：	10件	2025年3月期：	17件
2022年3月期：	14件	2026年3月期：	18件
2023年3月期：	14件		
2024年3月期：	22件		

助成先団体の活動（一部紹介）　エフピコグループ社員もボランティアとして参加

荒川クリーンエイド・フォーラム(東京都)



棚田LOVERs(兵庫県)



河北潟湖沼研究所(石川県)



TRY the TRAY

食品トレー・容器で未来を創る。

エフピコ